

各位

2019年4月10日
KNT-CTホールディングス株式会社
総務広報部（広報）担当：岩本
TEL：03-6863-0048

旅行取扱状況の概観（平成31年2月分）

下記、月次取扱額は、近畿日本ツーリスト北海道、近畿日本ツーリスト東北、近畿日本ツーリスト関東、近畿日本ツーリスト首都圏、近畿日本ツーリスト中部、近畿日本ツーリスト関西、近畿日本ツーリスト中国四国、近畿日本ツーリスト九州、近畿日本ツーリストコーポレートビジネス、KNT-CT グローバルトラベル、KNT-CT ウェブトラベル、クラブツーリズム、ユナイテッドツアーズ、KNT 商事の合算額となります。

記

海外旅行の取り扱い、学生団体は前年比122.2%、一般団体は同130.4%と前年を上回り、団体旅行合計で同128.3%と前年を上回った。企画旅行については前年比95.4%と前年を下回り、個人旅行については同114.4%と前年を上回った。

この結果、海外旅行総取扱額としては、前年比107.8%と前年を上回った。

国内旅行の取り扱い、学生団体は前年比101.2%と前年を上回ったが、一般団体は同93.8%と前年を下回り、団体旅行合計で同97.4%と前年を下回った。企画旅行については前年比99.6%と前年並となり、個人旅行については同105.0%と前年を上回った。

この結果、国内旅行総取扱額としては、前年比100.0%と前年並となった。

外国人旅行は、前年比113.1%と前年を上回った。

以上の結果、ホールディングス主要会社の2月の総取扱額は前年比103.4%となり、前年を上回った。

【区分別の状況】

1. 海外旅行

海外団体については、一般団体は前年開催の「第23回オリンピック冬季競技大会（2018/平昌）」の影響を受けた一方で、企業系コンベンションや職場旅行などの取扱人数が増加したことにより、前年比130.4%と前年を大きく上回った。学生団体は、研修旅行などの取扱人数の増加や修学旅行の取扱人数および取扱単価の増加により、同122.2%と前年を上回った。この結果、海外団体旅行合計で前年比128.3%と前年を上回った。

海外企画旅行については、前年比95.4%と前年を下回った。商品別では、ホリデイは方面別取扱人数の状況で、アメリカやアジア方面などが好調に推移したが、オセアニアや台湾、ハワイ方面および一部商品のクラブツーリズム商品への一体化の影響があるヨーロッパ方面などが前年から減少した。クラブツーリズムは、ヨーロッパでは南欧（イタリア、ポルトガル）、北欧（オーロラ）、英国が好調に推移し、クルーズではヨーロッパ方面が好調であった。アジア方面と北米、カナダ、ハワイ、オセアニア方面は低迷が続いている。

以上の結果、海外旅行の総取扱額としては、前年比107.8%と前年を上回った。

2. 外国人旅行

外国人旅行は、個人旅行の宿泊商品やツアー型商品およびレールパスが好調に推移し、前年比113.1%と前年を上回った。

3. 国内旅行

国内団体については、一般団体は、企業系コンベンションや親睦旅行などの取扱人数が増加した一方で、SIT型旅行や招待旅行などの取扱人数が減少したことにより、前年比93.8%と前年を下回った。学生団体は、スキー教室や各種研修旅行などの取扱単価が減少したが、修学旅行の取扱人数の増加により、同101.2%と前年を上回った。この結果、国内団体旅行で前年比97.4%と前年を下回った。

国内企画旅行については、前年比99.6%と前年並となった。商品別では、メイトは方面別取扱人数の状況において、北陸方面などが堅調に推移したが、関西や東海方面をなどは低調であった。クラブツーリズムは、北海道や山陰・山陽方面が低調であったが、中部（愛知・長野・岐阜）方面の温泉宿泊旅行や、名古屋、関西、茨城、広島地域発のバス旅行などが好調に推移した。

以上の結果、国内旅行の総取扱額としては、前年比100.0%と前年並となった。

以上